

発表テーマ	① 赤羽自然観察公園の湧水について ② 飯室層の化石について
発表者（学年）	① 4年鈴木 ② 4年内田・川崎
発表団体	小石川フィロソフィーⅡ 地学研究
研究概要	
<p>① 本で都内の湧水を調べていたところ、赤羽自然観察公園内に湧水があることを知りました。 5月14日（木）3，4時限目のフィロソフィーⅡの授業と昼休みを使い、地学研究の15名全員で赤羽自然観察公園まで行き、流量調査や水質調査を行いました。私は、家が近いので、ここをフィールドにし、調査を続けています。ホテルが飛び交うようにということで、ちょうど湧水の流れだしがあると思われるところが、フェンスで覆われ、保護区域になっています。瀬戸先生に北区の公園課と交渉してもらい、ビオトープの会というボランティアの方々の案内で保護区内に中に入ることができました。今回は、今までの調査から分かったことについての中間報告を行います。</p> <p>② 化石について調べたかったので、近場で採集が可能な場所をインターネットで検索をし、調べました。小田急線の和泉多摩川駅付近の多摩川の河川敷から貝の化石が採れることが分かりました。また、川崎市青少年科学館が「飯室層と化石」というガイドブックを発行していることを知り、本を購入し、いくつかの採取した貝化石を写真と見比べながら同定することができました。今は、飯室層から有孔虫を見つけ出し、当時の環境が推定できればと、泥岩と戦っています。今回は、今までの調査から分かったことについての中間報告を行います。</p>	